



つながる

校訓
自主創造
協力

R7. 7. 4(金) No.9 立野 健一

伸びゆく三中 ～6月に頑張ったこと～



あっという間に梅雨が明け、あっという間に7月がやってきました。4月から生徒の様子を見てきましたが、本当によく頑張っています。もちろんトラブルもありますし、指導すべきことはいくつもあったことは事実です。しかし、前向きに、主体的に、仲間とともに、生き生きと活動する姿をたくさん見ることができて、三中生の底力を感じる毎日でした。

上の写真は6月に行った様々な三中生の頑張りの様子です。福祉委員会が中心となって行った、シャトレーゼ前の花壇の花の植え替えボランティアと、校内の花の植え替えボランティアの様子。みんな真剣に、そして楽しく活動していました。特に校内の植え替え作業ではたくさんの先生方も参加していました。2年生が行った認知症サポーター養成講座。暑さの中、2時間の活動でしたが、講師の先生方もビックリされるくらい真剣に取り組んでいました。2年生の心の優しさを感じます。2年3組で主に過ごした教育実習生の庄山先生。三中出身で私が以前勤務していた時の生徒でした。生徒としっかり関わりながら、三週間、笑顔を絶やさずに頑張っていました。そして、三段目の4枚の写真は6月28日(土)に行われた第2回学校運営協議会の様子です。今回は生徒会執行部との熟議が中心となりました。内容は、先日の生徒総会で話題となった、男女の髪形について意見交換を行っていました。執行部と松本先生、村上先生が準備した資料も素晴らしく、わずか15分ほどの時間でしたが、素晴らしい意見交換ができました。その様子を見ながら、「これを Zoom 配信して、全校生徒に見せたい!」と思うような話し合いでした。生徒に困難な時代を生き抜く生きる力をつける前に、まずは生徒の持っている力を引き出すことが大切だと感じました。引き出したうえで、力強く生き抜いていくためにまだまだ足りない部分を、様々な活動を通して力をつけていければと感じました。これからも三中生の良さを見つけて、紙面にて紹介していきます。

日常生活の質の向上を目指した取組

生徒会執行部を中心として、毎朝、挨拶運動を展開しています。正門・体育館前・各学年の昇降口前に分担して立っている生徒会執行部が「お早うございます！」と挨拶をしています。先生方も立たれて、挨拶を交わしながら安全タスキの着用を呼び掛けています。最近はぎりぎりに登校してくる生徒に、執行部が「ちょっと急ぎましょう！」「駆け足で行けば間に合うよ！」と声をかけています。給食の準備の際には給食委員を中心に時間を計りながら、手際のいい準備を呼び掛けています。清掃時間は無音清掃がずいぶん徹底されてきました。さらに清掃の反省会では、その日の清掃で特に頑張った人をその日の「MVS」として清掃リーダーが紹介して記入しているようで、結構喜んでいるみたいです。

私は長年ソフトテニスの指導に携わってきて、県外の指導者とも交流を持ちながら、自分なりに勉強して指導にあたっていました。私が一番お世話になった佐賀県の先生は、U15の日本代表のコーチ、U17の日本代表の監督をされましたが、どちらのカテゴリーでも一番初めの合宿のテーマは、「日常生活の向上」だったそうです。U15、U17の日本のトップ選手、のちの日本代表となるだろう選手を集める最初の合宿のテーマが「日常生活の向上」なのです。

一日24時間の中で競技の練習を行う時間は3時間程度。睡眠時間が7時間程度、食事・入浴等の時間が1時間程度とすると、合計11時間となり、残った時間が13時間です。この残りの13時間をいかに充実したものにするか、自分のことは自分でできるか、面倒くさがらずに正しい行動をとれるか。ここを土台として技術や戦術を積み上げていくのです。

中体連大会やクラブ選手権等が終わって、徐々に新チームに移行していきます。3年生は希望校合格に向けて、受験勉強に励んでいくことになります。夢実現のために、まず取り組むべきことは足元を固めること、土台をしっかりと固めることです。つまり「日常生活の質の向上」というわけです。

そこで私が三中生に、少し意識してほしいことを下に書きます。一気に変わることはないでしょうが、みんなが一つずつでも意識して足元を固めてくれたら、全体で見たときに学校の雰囲気は大きく変わっていると思います。今まで以上に「さすが三中」「好きです三中」となるのではと期待しています。

- ① 朝の登校の様子。8時10分には教室に入って準備等を行い、8時15分からの朝の会に備えます。8時10分から20分の間に登校する生徒が、あと5分でもいいから朝早くに登校できれば、ほとんどの生徒が遅刻することなく朝の会を迎えられます（特別な事情で遅れる場合は大丈夫です）。何となく遅れてくることを減らしていきましょう。
- ② 夕方、暗くなってから帰る時だけ安全タスキをしようとしても、なかなか徹底できません。ですからほとんどの学校で、登下校時の安全タスキ着用を推奨しています。交通安全協会からも毎年、新入生全員に安全タスキをいただいています。手に持ってぶら下げている生徒。バックの中に入れて登校しているけれど着用していない生徒。少し多いと感じます。
- ③ 朝登校して、名札を着用して、帰る時に外して教室に置いて帰ることになっています。556名の生徒の名前と顔が一致するように私も努力はしますが、名札がついていないとなかなか難しいです。校内にいる時には名札の着用をきちんと行いましょう。
- ④ 挨拶はコミュニケーションの第一歩です。自分が心を開かなければ、相手も心は開いてくれません。自分から→大きな声で→笑顔で→立ち止まって。少しずつ挨拶もステップアップしていきましょう。
- ⑤ 受験勉強で一番大切なことは、日頃の授業を大切にすることです。私語は周りの生徒の勉強の邪魔をしてしまいます。我慢していたけれど、うっかり居眠り…これは仕方ないかなと思います。しかし、あからさまに突っ伏して寝るのは授業の雰囲気を壊すことにもなります。授業は教科の担当の先生だけが作るものではなく、あなたたち生徒と一緒に作りあげるものです。

